

平成17年度 先端技術を活用した農林水産研究高度化事業 採択課題一覧

I. 全国領域設定型研究のうちリスク管理型

1. 遺伝子組換えトウモロコシBt10の定量分析法の開発

課題番号	課題名	中核機関名	総括氏名	共同機関	研究期間(年)	研究概要
1785	遺伝子組換えトウモロコシBt10の定量分析法の開発	(独)食品総合研究所	日野 明寛	(独)肥飼料検査所 株式会社ニッポンジーン	1	分析用標準分子としてプラスミドを用いた方法により中核機関が民間試薬会社との共同研究で遺伝子組換えトウモロコシBt10の系統特異的配列を定量する方法をreal-time PCR法を利用して開発するとともに、肥飼料検査所との共同研究により試験室間共同試験を実施し、分析法としての妥当性(精度、定量下限、室間再現性等)を確認する。

II. 緊急課題即応型調査研究

1. 火傷病侵入警戒に関わる緊急調査研究

課題番号	課題名	中核機関名	総括氏名	共同機関	研究期間(年)	研究概要
1786	火傷病侵入警戒に関わる緊急調査研究	(独)農業・生物系特定産業技術研究機構 果樹研究所	島根 孝典	青森県農林総合研究センターりんご試験場 長野県果樹試験場 長野県南信農業試験場	1	WTO勧告により米国産りんごの火傷病に係る検疫措置が緩和されようとしており、また、宿主植物の苗木、穂木等の不正持ち込み等により、火傷病の侵入は常に起こりうる状況にある。未発生の重要病害であり、我が国に侵入した場合には早期発見、組織的な撲滅事業を実施しなければならない。このため、火傷病の病徴診断法及び火傷病菌の簡易、迅速、確実な検出、同定方法の確立、火傷病菌宿主植物栽培地域における類似病害の調査を実施する。

2. 木質ペレット燃焼灰の化学物質特性の解明

課題番号	課題名	中核機関名	総括氏名	共同機関	研究期間(年)	研究概要
1787	木質ペレット燃焼灰の化学物質特性の解明及び利用促進技術の開発	岩手県林業技術センター	東野 正	サンポット株式会社 葛巻林業株式会社	1	平成17年2月に、ペレットストーブ等から発生する燃焼灰の利活用のため、成分分析を行ったところ、ホワイトペレット燃焼灰の一部から「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく特別管理産業廃棄物の判定基準を超える六価クロムが検出された。発生要因としてペレット原料由来、製造工程由来、燃焼条件等多岐にわたると考えられる。この多岐に渡る要因から原因を究明し、六価クロム溶出抑制技術の開発を行い今後の木質バイオマス利用の促進に資する。

3. 偽表示対策に向けたアサリ原産地判別技術の開発

課題番号	課題名	中核機関名	総括氏名	共同機関	研究期間(年)	研究概要
1788	輸入アサリの偽装表示対策技術開発	(独)水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所	浜口 昌巳	東和科学株式会社	1	近年、輸入アサリが国内産アサリと偽装事例が多発しており、国民の不信感が高まっている。これまでの(独)水産総合研究センターにおけるアサリのミトコンドリアDNA全塩基配列の解析結果によると、国内産アサリと輸入アサリの大部分を占める大陸由来のアサリには複数の領域で変異が認められており、これらを分析することによって両者を識別できる可能性が高い。そこで、これらの知見を踏まえ、輸入アサリの判別技術を開発する。